

社会福祉法人一期一会福祉会環境自主行動計画

1. 基本理念

近年の新興国の発展に伴い、地球全体での二酸化炭素排出量が増大しており、それに起因するとも言われている気温の上昇が起きています。二酸化炭素排出は、石油・石炭を中心とした化石燃料の使用が大きく影響していると言われ、発電に利用する化石燃料を減らすため、省エネへの取り組みや代替エネルギーの開発が言われています。その中で、2011年3月に発生した東日本大震災により、代替エネルギーとして重視されていた原子力発電所が停止し、電力事情が悪くなりました。その点で、節電に取り組む社会的ニーズは非常に高くなる一方、社会福祉施設を利用する高齢者の高齢化・重度化が進み、近年の急激な気候変動に対応できない方が増加しており、空調管理をする必要性も高まっております。これらを踏まえ、下記の環境自主行動計画を定め、バランスを取りながら、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでまいります。

2. 行動計画

二酸化炭素排出量を削減するため、次の事に取り組めます。

① エネルギー使用量の把握と、効率利用・削減

使用量を検針値やデマンド監視装置で把握をする。機器毎の使用量や使用方法・時間を分析し、使用機器の変更(省エネ空調やLED照明への更新等)や、使用方法の検討(コージェネの活用)、使用時間や使用頻度の見直しを行い、効率利用・節電省エネに取り組む。また熱源(重油、ガス及び電気における時間帯別発電源)も意識した取組を行う。

② エネルギーの創出

二酸化炭素を排出しない自然エネルギーを用いた設備導入を検討します。例えば太陽光発電システムや、太陽熱利用システムの導入を検討していきます。

③ 緑地の維持管理

二酸化炭素を削減する上で、緑化への取り組みも重要です。当法人で所有する土地における緑化・緑地の維持管理を行っていきます。

3. 数値目標

平成22年度を比較対象にして、発電量を相殺した二酸化炭素排出量を、平成27年度までに5%削減する事を目標とします。